

チャールソン併存疾患指数を使用した胃癌患者の短期術後転帰の予測

1. 研究の対象

2012年1月1日から2020年12月31日に当院で胃癌手術を受けられた方

2. 研究目的・方法

胃癌術後短期成績予測因子を検討する。

当科で幽門側胃切除術・胃全摘術を施行した症例を対象として、術後経過解析を行い、独立したリスク因子を抽出する。

- 1) 主要評価項目／術後合併症、術後在院日数、術後再入院・再処置、これらを引き起こす独立したリスク因子
- 2) 副次的評価項目／術前併存疾患係数、背景因子、手術関連因子、病理学的因子、の予後への影響

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- 1) 患者基本情報：年齢、性別、BMI、術前併存疾患情報
- 2) 血液検査
- 3) 手術関連情報：手術術式、手術時間、出血量
- 4) 術後合併症の有無とその内容
- 5) 術後在院日数と退院後再入院・再処置の有無

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

京都中部総合医療センター 患者相談係

研究責任者：

京都中部総合医療センター 外科 長田寛之

-----以上